

一西新聞

発行
立川市西尾一色小学校
PTA編集
PTA文教委員会



困難に打ち勝つ最強の数字「3」

PTA副会長 三矢 宏典

六年生の皆さん、ご卒業おめでとう
ございます。保護者の皆様も、お喜びは
ひとしおのことと存じます。早いもので、
ウイズコロナの社会になって三年目。な
かなかコロナ以前の状態に戻らない中、
日本中、世界中が工夫して社会生活を営
むことが求められています。先ほど「コ
ロナ三年目」と述べましたが、私からは
この「3」にまつわる不思議な話を、卒
業生の皆さんに贈りたいと思います。

たとえば、「三人寄れば文殊の知恵」
という言葉があります。これは、一人で
はなにもできなくても三人集まって協力
すればよい知恵が浮かぶ、という意味の
ことわざです。ほかに、三者が心を一
つにすることを意味する「三位一体」や
戦国武将の毛利元就にちなんだ「三本の
矢」という言葉もあります。勝負事など
では「三度目の正直」というフレーズも

よく使われますし、武道やスポーツでは
「心・技・体」の三つのバランスが大事
だとされていますね。国の権力も一つの
機関に集中させず「司法権・行政権・立
法権」に分立することで、互いに抑制し
合い、均衡を保てるような仕組みになっ
ています。

このように、なにか問題に直面した
ときやバランスを取りたいとき、新たな
挑戦をしたいときなど、私たちは「3」
の力を無意識に借りているのではないか
と思うのです。卒業生の皆さんもこれか
ら中学生、高校生と大人になるにつれ、
自分の意思で決断しなくてはならなかつ
たり、前例のないことに取り組んだりす
る場面を迎えるでしょう。そんなときは
不安や焦りを抑えて、最強の数字「3」
を意識してみましょう。三人に相談する
三回は挑戦してみる、三つのパターンを
考えてみる。そうすることで気持ちが落
ち着き、普段以上の実力を発揮でき、よ
い結果につながるはずです。コロナの時
代を生き抜いてきた皆さん
ならきっと大
丈夫。自分を
信じて、明る
い未来をつく
りあげていっ
てください。



学校のお手本から、地域の柱に



校長 齋藤 英二

五十八名の六年生の皆さん、ご卒業お
めでとございます。本年度も新型コロナ
ウイルスの影響で、さまざまな行事や
活動に影響がありました。十一月に予定
していた「学習発表会」もその一つです。
二年前までの学芸会を、子供たちの学び
により近づけた内容で行うための「学習
発表会」も延期を余儀なくされ、一月に
その第一回が行われました。

低学年は国語や学習全般で、中・高学
年は総合的な学習で学んだことのまとめ
を発表しました。当初の予定から二か月
延期しての開催に加え、子供たちが楽し
みにしていた保護者の方の参観が取りや
めになり、正直、十分な形ではなかった
と思います。

その中で、皆さんが発表した「めざ
せ！一西小防災リーダー ～みんなで守
ろう大切な命～」は見事でした。少人数
でのグループテーマを決め、本やインタ
ーネットを活用するだけでなく、市の危

機管理課の方の話を聞いたり、実際に校
区を回って危険箇所を調べたりしたこと
また、そこから自分たちが考えたことな
どを発表しました。ただ「言う」のでは
なく「伝える」を意識した発表を、一か
ら四年生は教室で、五年生は体育館で聞
きました。最高学年として立派なお手
本となりました。地域の課題でもある地
震災への取り組みの第一歩を、皆さん
は踏み出してくれました。ここで学んだ
ことは、まだ防災の入り口かも知れませ
ん。しかし、自他の命を守る大切な芽が
皆さんの中につかりと根付いたのです。
これからも、仲間や地域の方と心をつな
ぎ、その芽をしっかりと育てていって
ください。そして将来、皆さんが地域の
大切な柱となることを心から願っています。
最後になりましたが、日頃より、本校
の教育活動への、保護者の皆様そして地
域の皆様のご理解とご協力をいただき、
誠にありがとうございます。これからも
地域に愛され、信頼される学校を目指し
てまいります。今後とも、変わらぬご支
援をお願いいたします。



卒業特集

「変わらないもの」を大切に

六年一組 担任 山崎 美希

ご卒業おめでとうございます。

みんなとの出会いは、二年前。休校の真つ最中でした。始業式で初めて顔を合わせた後、二か月も全員揃って過ごすことができませんでした。人のいない教室は、本当に寂しく、休校が明けて、学年全員がそろったときの喜びは忘れません。休校が明けても、いろいろな制限があり、大きな行事が延期され、密になることは避けられ、給食も黙食でした。今までと変わってしまったことに、戸惑い、残念に思うこともたくさんありました。

そんな二年間でしたが、変わらなかったものがあります。それは、みんなの「努力」と「優しさ」、そして「笑顔」です。今まで当たり前だったことが変わっていく中で、みんなは「何ができるか」を一生懸命考えました。そして、できることに精一杯取り組みました。また、運動会、山の学習、修学旅行、学習発表会など大きな行事では、仲間のことを思いやって行動することができました。その度に、笑顔があふれ、仲間との絆を深めてたくましく成長しました。素敵な思い出とみんなの笑顔があったから、私も毎日楽しく過ごすことができました。

これからの長い人生において、楽しいことばかりではなく、苦しいことやつらいこともたくさんあると思います。努力が報われなかったり、理不尽なこともあったりするかもしれません。でも、そんな時こそ、みなさんにとつての「変わらないもの」を思い出してください。そして、未来に向かって、いつも前向きに笑顔で進んでいくことを願っています。

います。

君と出会った幸せを

かみしめながら 歩いていこう

一年先も 十年先も

変わらない想い これからもずっと

(「変わらないもの」より)

天才じゃなくても

六年二組 担任 吉田 真梧

「人には向き、不向きがある」

大人になってから嫌というほど耳にする言葉だ。しかし、先生自身もこの価値観を絶対的に否定することはできない。

なぜなら、先生自身もその壁に幾度となくぶつかったからである。三歳のころから始めた水泳。周りの子よりも長く続けてきた自負があった。また、高校生の時、部活が終わると、スイミングスクールに行き、また泳いだ。誰よりも練習している自信もあった。それなのに、なかなか結果はついてこなかった。さらに、高校から本格的に水泳を始めた友達にも記録を抜かれる始末である。

「自分には向いていない」「やめよう」と何度も思った。それでも、その度に歯を食いしばり練習に励んだ。

迎えた高校生最後の夏。自分のベストタイムを大幅に更新し、県大会への切符をつかむことができた。

これから先のみんなの人生はすべてが順調にいくとは限らない。いくつもの困難に直面することだろう。でも、その時こそ、みんなの真価が問われることになる。

「自分には向いていない」と、自分の可能性に早々に見切りをつけ、諦めてしまおうのほどももつたかと思う。それは、全ての正しい努力をしつくしてからでも遅くはない。もしかしたらあと一歩、二歩努力したその先に、今までの努力が

報われ、その可能性が花開く瞬間があるかもしれないのだから。

「才能は開花させるもの、センスは磨くもの」

先生のすきな言葉だ。誰にでも無限の可能性がある。たとえ天才でなくても、「努力」によって、「才能」や「センス」にも似た真の実力を得られる可能性が、みんなには、その可能性を信じ、たくさんのことに挑戦し、努力をしてほしい。

その挑戦や努力が、今後のみんなの人生をきつと豊かにしてくれるはずだ。

みんなと過ごした一年間は先生のおかげがえのない宝物です。一年間ありがとう。そして、卒業おめでとう。みんなの今後の活躍を心から楽しみにしています。

未来にもかかって

ひまわり学級 担任 中濱 初美

ご卒業おめでとうございます。

四年前、初めてみんなと出会った日のことは忘れられません。西部小に来て初めて出会ったのがみんなでした。始業式で三年生のみんなの前に立ったときの、こちらを見つめる真つすぐなきらきらした表情を今でもはっきりと覚えています。

その姿は、今でも私に力をくれます。

それから三年が過ぎ、小学校生活最後の一年間を一緒に過ごせることになりました。三年生のとき以上に、何事にもひたむきに取り組むみんなに、感心させられる毎日でした。最高学年として優しく下級生を見守る姿、困っている人がいると、自然に声をかけて助けてあげられる姿。そんな姿を見るたびに、みんなの優しさを感じて、あたたかい気持ちになりました。みんなの変わらない明るさや元気さ、優しさに触れるたびに、たくさん助けられた一年間でした。みんなと過ごすことができた二年間は、私にとつてか

けがえのない宝物です。本当にありがとう。

みんなには、周りの人を助けたり、笑顔にしたりする大きな力があります。これからも、周りを元気づけながら、ときには周りに助けてもらいながら、未来に向かって一歩ずつ、自分のペースで歩んでいってほしいと思います。その道の中には、楽しいことばかりではなく、苦しいことやつらいことがきつとあります。そんなときにはすぐにあきらめてしまうのではなく、「あとちょっとだけがんばってみようかな」という気持ちで、少しだけ堪えてみてほしいです。「あとちょっと」が積み重なると、いつか大きな力となって自分に返ってきます。花開くときが必ず来ます。そのときを信じて、笑顔で前に進み続けるみなさんであってほしいです。

みんなのことを、これからもずっと応援しています。

《六年一組》

将来の夢は、造船所で働くことです。理由は、自分の造った船が海に浮かぶのを見てみたいからです。 天野 大志

将来の夢は、ゲームクリエイターです。無人島のサバイバルゲームを作つて、みんなを楽しませたいです。 荒川 朔

将来の夢は、普通の会社員になることです。働いたお金で、休日に趣味を楽しみたいです。 石川 真央

将来の夢は、シェフになることです。シェフになって、みんなを笑顔にできる料理を作りたいです。 磯部 綾

将来の夢は、ダンスに関わる仕事に就くことです。ダンスの楽しさをいろんな人に教えたいです。 糟谷 菜々子

将来の夢は、父と同じ設計士になることです。自分は、計算が得意だから、それを生かしたいです。 加藤 蓮

将来の夢は、お金持ちでもなく貧乏でもなく、人のためになる仕事に就いて楽しく暮らすことです。 川島 功輝

将来の夢は、資格を持つている人しか就けない仕事に就くことです。理由は母のようにになりたいからです。 倉内 悠磨

将来の夢は、ウエディングプランナーになることです。たくさんのお客さんの「幸せ」のお手伝いをしたいです。 倉内 柚芽

将来の夢は、メジャーリーガーになることです。だから尊敬される選手になりたいです。 榊原 庄之亮

将来は、生活費を引いても一、二万円ほど余るくらいの収入を得て、趣味を楽しんで暮らしたいです。 榊原 唯宇

将来の夢は、花屋になることです。花を見ると、みんなが笑顔になるし、元気になると思うからです。 鈴木 興

将来の夢は、劇団員になって、子供からお年寄りまでの全ての人を笑顔にすることです。 鈴木 希実

将来の夢は、看護師になることです。病気で苦しんでいる人をたくさん助けたいからです。 鈴木 琉奈

将来の夢は、獣医師になることです。犬や猫などたくさん動物の命を救いたいです。 高須 ゆず季

将来の夢は、宝くじで大金を当てて、犬や家を買うことです。その家で犬や家族と過ごしたいです。 高須 麗哉

将来の夢は、心理カウンセラーになることです。なぜなら、精神面でたくさんの人を支えたいからです。 中川 千嘉

将来の夢は、学校の子供たちの通訳になることです。学校の通訳さんがかっこよかったです。 仲西 ジャニセ

将来の夢は、エステティシャンになることです。お母さんやいろいろな人達の疲れをとってあげたいです。 永井 暖花

将来の夢は、通訳になることです。空港で、外国から来たお客さんのお手伝いをしたいです。 福嶋 愛美

将来の夢は、美容師になることです。たくさんのお客さんを笑顔にできるような美容師になりたいです。 藤井 裕愛

将来の夢は、まだはつきり決まっていけど、自分に合う仕事に就いて、楽しく暮らしたいです。 細井 力翔

将来の夢は、競い選手になることです。理由は、見に行つたとき、かっこいいと思つたからです。 堀田 ひなの

将来の夢は、カメラマンになることです。美しいところや有名なところなどを撮りたいです。 本田 ユウジ

将来、ぼくは、今と同じ生活ができるぐらいの仕事をして、幸せに生きていきたいです。 松尾 奏哉

将来の夢は、精神保健福祉士の資格を取るということです。人を助けられる思いやりのある人になりたいです。 三矢 愛歌

将来の夢は、あんまマッサージ指圧師になることです。理由は、たくさんの人をいやしたいからです。 三矢 侑奈

将来の夢は、先生になることです。私の憧れの先生のように、優しくて厳しい先生になりたいです。 宮地 咲由子

将来の夢は、デザイン系の仕事に就くことです。新しいものをかくことや作ることが好きだからです。 山田 愛

《六年二組》

将来の夢は、安定した給料がもらえる職業に就くことです。理由は、普通の生活がしたいからです。 赤羽 舞

将来の夢は、幸せに生きることです。理由は、幸せに生きると、人生が楽しくなると思うからです。 荒川 和輝

将来の夢は、トリマーになることです。犬が好きだし、犬に関われる仕事だからです。 今村 花音

将来の夢は、ネイリストになることです。一年生のころからの夢なので、かなえないです。 梅田 麗響音

将来の夢は、元気に生きることです。理由は、元気に生きると生きがいを感じられるからです。 久野 佑輔

将来の夢は、パン屋さんになることです。パンの力でみんなを笑顔に、そして幸せにしたいからです。 倉内 咲綾

将来の夢は、たくさん猫と暮らすことです。特に、スコティッシュフォールドと暮らしたいです。 倉内 芽生

将来の夢は、収入が安定した大人になることです。理由は、不自由なく暮らして生きたいからです。 黒野 陽向汰

将来の夢は、管理栄養士になることです。管理栄養士になって、おいしい給食の献立を考えたいです。 小橋 璃乃

将来の夢は、医者になることです。理由は、病人や、けがをしている人を治したいからです。 近藤 佳奈

将来の夢は、書道の師範になることです。そのために、検定試験を合格できるようにがんばりたいです。 佐々木 琴美

将来の夢は、宇宙飛行士になることです。宇宙に行つて、宇宙から地球を見てみたいんです。 スヤギ ケイラ

将来の夢は、元気に生きることです。なぜなら、元気だと遊んだり遠くに行つたりできるからです。 瀧澤 虎之助

将来の夢は、毎日楽しく生きることです。理由は、楽しく生きること生きがいがあると思えるからです。 瀧澤 莉愛

将来の夢は、ラグビー選手になることです。理由は、年長の時に先生に才能があると言われたからです。 田中 洋大

将来の夢は、バスの運転士です。多くの人の移動を手助けできる職に就けたら良いなと思うからです。 中川 悠希

将来の夢は、建築家になることです。たくさん家の仕組みを考えていてとてもかっこいいからです。 平塚 陽理

将来の夢は、理学療法士になることです。理由は、医療関係で人を助ける仕事に就きたいからです。 藤井 公士郎

将来の夢は、ユーチューバーになることです。理由は、みんなを笑顔にして、楽しませたいからです。 堀 ひなの

将来の夢は、プロ野球選手になることです。プロの舞台で人を楽しませる選手になりたいです。 前沢 悠斗

将来の夢は、マッサージ師になることです。人の疲れをとって、元気に暮らしてほしいからです。 前田 瑛都

将来の夢は、たくさんの人と仲良くすることです。理由は人とのつながりがあれば明るくなるからです。 前田 魁士

将来の夢は、美容師です。お客さんいろいろななかみ型にカットして、笑顔にしたいです。 牧野 花音

将来の夢は、ブリーダーです。たくさんの人にペットを飼う幸せを知ってほしいと思つたからです。 牧野 結愛

将来の夢は、イラストレーターになることです。将来に向けてたくさん絵の練習をしていきたいです。 三矢 星夢

将来の夢は、ファッションデザイナーです。理由は、いろいろな服をデザインしたいからです。 宮地 陽菜

将来の夢は、一人暮らしをすることです。理由は、一人で自由に生きていくことが楽しだからです。 山崎 璃空

将来の夢は、公務員になることです。理由は収入が安定していて快適に過ごせるからです。 山崎 王雅

将来の夢は、美容師になることです。理由は、いろいろなヘアアレンジの仕方があつて楽しいからです。 山田 優希

一 西小防災リーダー

六年二組 倉内 咲綾

六年生は総合的な学習で防災について調べてきました。

私たちの班では、避難場所についてくわしく調べるために、実際に校区を歩くことにしました。歩いてみると、ブロックベいや川など、危険な場所を多く見つけました。また、赤羽の駐在さんにお話を聞き、この校区には低い土地が多く、津波による浸水の危険性が高いことを知りました。

学習発表会では、今まで調べてきたことを、オリジナルハザードマップにまとめ、発表しました。聞く人が分かりやすいように、写真をはったり、文章を短くまとめたりして工夫しました。



今回の学習を通して、地震の恐ろしさを改めて実感しました。いざというときは、学んだことを生かし、安全に行動していきたいです。

在校生から卒業生へのメッセージ

ありがとう六年生

一年二組 たなか ゆら

とう下校で、いつも気持ちのいいあいさつをたくさんしてくれてありがとう。「一れつだよ。」といって、わたしたちをあんぜんにつれてきてくれてありがとう。そうじでも、じょううずにできなかつた一年生を、たすけてくれてありがとう。正しいほうきのつかいかたをおしえてもらったので、これからもがんばっていきます。

あこがれの六年生

二年二組 倉内 翔大

六年生のみなさん、こそつぎようおめとうございませう。六年生は、ぼくのおこがれです。学習はつぷよう会では、大きな声でどうどうとほつぷようするすがたが、とてもかっこよかったです。ぼくも六年生みたいになりたくて、ふだんのじゆぎようから大きな声ではつづるようになっています。

これからも六年生から学んだことを生かしてがんばります。中学校に行ってもかっこいい六年生でいてください。おうえんしています。

そつ業おめでとういっしょに

三年一組 宮地 悠斗

六年生のみなさん、そつ業おめでとうございませう。

ぼくは、六年生に分からない勉強を教えてもらったたり、けがをしたときにほけん室に連れて行ってもらったたりと、いろいろなことでも助けてもらいました。六年生は、先生からの指示がなくても、しゃべらず、自分のやることを考えて、てきぱきと行っていてすごいと思います。また、運動会の集だんえんぎや、学習発表会のマーチングバンドのえんそうでの、心を一つにした発表にとっても感動し、かっこいいと思いました。

六年生とおわかれするのはとてもさびしいですが、ぼくたちははずつと六年生のことをわすれません。ぼくたちも六年生のようにりつぱな高学年になります。

最強の六年生

四年二組 平塚 穰幸

わたしにとって六年生は最強です。なぜかという、六年生は何でもできて、大事な仕事を何でもこなせるからです。六年生は、大縄がとても上手で、三分で二百八回もとべました。わたしはまだまだ連続とどぶことがなかなかできません。あと二年間で、六年生のように、三分間で三百回以上とべるようにたくさん練習したいです。

六年生の児童会の子は、みんなのためにいろいろなき画を考えてくれたり、給食のときに楽しめるようなことをたくさん考えてくれたりしました。

わたしも六年生を見習ってすてきな六年生になりたいです。

ありがとう六年生

五年一組 石川 楓

六年生のみなさん、ご卒業おめでとうございませう。私は、この五年間で六年生のみなさんから学んだことや感じたことがたくさんあります。

運動会などの行事では、六年生が最初に集まり、他学年のお手本になっていました。私は、六年生が最初に並んでいる様子を見て、「やっぱり六年生はすごいな。」と、思っていました。

委員会やクラブなどでは、私が分からなくて困っているときには、優しく声をかけてくれました。下級生のことをいつも気にかけてくれることが本当にうれしかったです。

私も四月には六年生になります。みなさんのように、在校生を引っ張っていきける六年生になりたいと思います。お別れはさみしいけど、中学校に行ってもがんばってください。そして、今までありがとうございました。

卒業式に関する連絡

磯部昌一様より卒業記念品（英和辞典）、PTAより卒業証書ホルダー、一色町商工会よりえびせんべいが贈呈されました。卒業生より卒業記念品（ハワイトボード一枚）が贈られました。